

文部省科学研究費補助金〈特定研究(1)〉

「国際環境に関する基礎的研究」

総括シンポジウム

戦後国際環境の比較研究

プログラム

日時 昭和51年6月19日(土)~20日(日)

会場 東京外国語大学本館

「国際環境」研・シンポジウム実行委員会

総括シンポジウム 『戦後国際環境の比較研究』

＝ 6月19日(土) ＝

受付開始 (午前9時30分)

開会の辞 (午前10時)

総括シンポジウム
実行委員長 坂本 是忠 (東京外国語大学学長)

第一セッション： 国際システムと政治意識 (午前10時10分～午後0時40分)

議長 東京大学 辻村 明

〈報告〉 統計数理研究所 林 知己夫 「対外国意識とフィリピン」
(各30分) 東京工業大学 穂山 貞登

上智大学 川中 康弘 「米国ジャーナリズムと対日イメージ」

上智大学 武者小路 公秀 「双極システムの多極化

—そのシミュレーション・モデル—

〈休憩〉 (10分)

〈討議〉 (50分)

昼食 (各自随意)

第二セッション： 国民形成と国際環境 (午後2時～4時30分)

議長 広島大学 今堀 誠二

〈報告〉 東京外国語大学
アジア・アフリカ
言語文化研究所 飯島 茂 「アジア地域の国民形成と文化的統合」
(各30分)

東京外国語大学 田中 忠治 「タイの華僑政策と国民統合」

一橋大学 佐藤 定幸 「多国籍企業と国家主権」

〈休憩〉 (10分)

〈討議〉 (50分)

＝ 6月20日(日) ＝

第三セッション：戦後国際環境と日本外交（午前10時～午後0時30分）

議長 一橋大学 細谷千博

〈報告〉 東京都立大学 赤木須留喜「戦後占領政策と地方自治」
（各30分）

東京大学 渡辺昭夫「冷戦にたいする日本の対応」

京都大学 高坂正堯「戦後国際環境と安全保障」

〈休憩〉（10分）

〈討議〉（50分）

昼会（各自随意）

総括セッション：国際環境に関する基礎的研究（午後2時～4時）

議長 東京大学 本間長世

〈報告〉 東京工業大学 永井陽之助「国際環境に関する基礎的研究」
（45分）

〈休憩〉（5分）

〈討議〉（70分）

来賓挨拶 日本学術振興会会長 茅 誠司

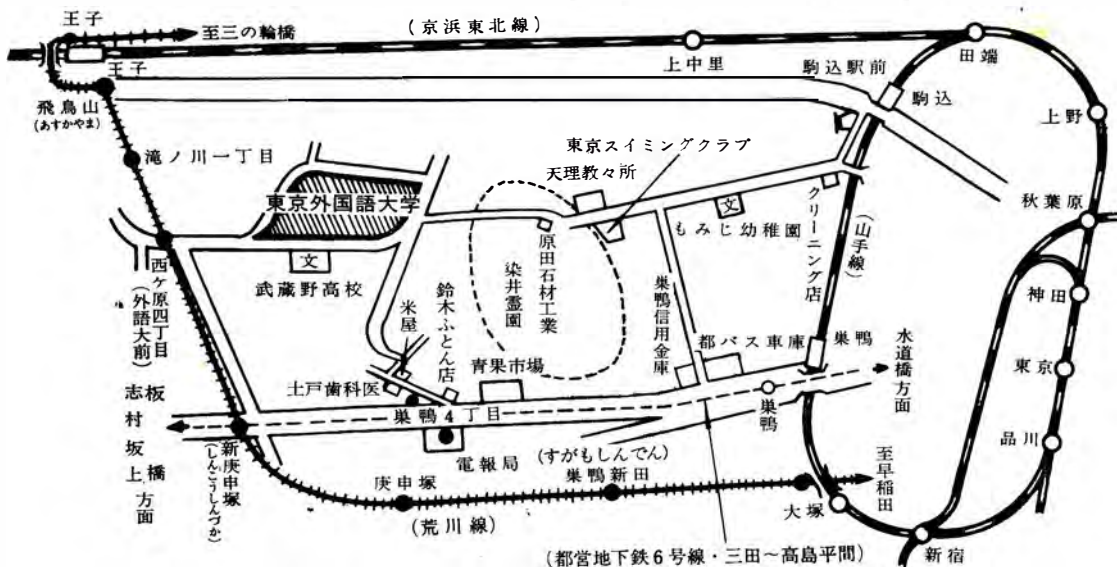
閉会の辞 「国際環境」研・主査 林 健太郎（東京大学総長）

懇親会（午後4時30分～6時）

スピーチ 文部大臣 永井道雄

〈御案内事項〉

●東京外国語大学本館へは、



- ①国電（山の手線）大塚駅北口より都電王子・荒川車庫方面ゆき（東京に残る唯一の都電）に乗って4つ目の電停・西ヶ原4丁目（外語大前）下車，徒歩5分。
- ②国電（山の手線）大塚駅北口または巣鴨駅北口または駒込駅西口よりタクシーでほぼ一区间。
- ③地下鉄・都営6号線・西巣鴨駅滝野川口下車，徒歩10分。

なお、シンポジウム実行委員会事務局は、

〒114 東京都北区西ヶ原4-51-21

東京外国語大学

中嶋嶺雄研究室

TEL 03-917-6111 (代) 内線 322 (シンポジウム当日は TEL 03-910-4731 <直通>)

- 遠隔よりのシンポジウム参加者の宿泊代，交通費は「国際環境」研・総括班で負担致しますので，当日印鑑を御用意下さい。
- 昼食は各自随意におとり願いますが，懇親会につきましては参加者全員の費用を総括班で負担致します。
- このシンポジウムは原則として非公開ですが，本研究参加者の推薦状を持参の方には傍聴を許可致します。
- シンポジウムの報告・討議内容は後日印刷刊行の予定であります。